

創造者たちの里程標

たったいま、ひとつの合流が行われ
かすかな屈折率しか持たぬ流体の滴が
無表情な肌を潤してゆくところだ

すると、制御することを放棄した創造者たちは
融和を希求する時間をもてあまし
無までをも喰らい尽くしはじめる

潤いを増したその肌はうごめく
まるで前進する青虫のように波うちながら
創造者たちの流し目を捕らえて惑わしてゆく

生の秘密をそっと吐き出すかのように
流体はきわめてかすかな音を漏らしながら
その肌を潤してゆく

その創造者たちの目に映じる里程標を
我々は次のように呼んでいる
「エクスタシー」と

(2001.9.14)